2820

Rotary District 2820

CREATE HOPE in the WORLD

10 Vol.4 2023

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

DIALOGUE Governor+ No.4
常磐大学・常磐短期大学学長 富田 敬子 氏
ガバナーメッセージ
米山月間によせて
ガバナー公式訪問報告（古河中央 RC）
ガバナー公式訪問報告（龍ケ崎中央 RC）
ガバナー公式訪問報告（日立 RC）
ガバナー公式訪問報告（境 RC）
ガバナー公式訪問報告（東海那珂 RC）
ガバナー公式訪問報告（友部 RC）
ガバナー公式訪問報告（下館 RC）
ガバナー公式訪問報告（日立港 RC）
RLI 研修会報告
7月会員増強報告
新会員紹介・
2026-2027年度地区ガバナー候補者推薦のお願い
大高ガバナーエレクト事務所開設
メンタルヘルス
復職を許可するのは誰か？
訃報・ガバナー公式訪問・スケジュール
コラム 私の思い・編集後記
2023-2024年度地区大会のお知らせ

Illustration 渡邉里咲 リリー幼稚園

常磐大学・常磐短期大学学長　富田 敬子 氏

大久保 博之

世界の中の日本、ダイバーシティ、指導者論…etc.
話題は尽きない

＜大久保ガバナー＞　まずは国連でのお仕事について、お聞かせ下さい。

＜富田学長＞　華やかなイメージを持つ方が多いと思いますが、国連の職員は公務員であって、日々の仕事はすごく地味なものです。国連職員には、自分の出身国の利害に与せず、中立な立場で地球・世界のために奉仕する姿勢が求められます。私が職員として具体的に関わった仕事は、大きくまとめて３つあります。一つ目は、地球的課題としての人口問題の研究。二つ目は、様々なテーマの国際会議を企画・運営したこと。三つ目は、開発途上国向けの技術協力です。私の専門は、統計や人口問題ですので、こうした分野でどのような技術支援ができるか、政府と直接協議することもありました。例えば、ミャンマーでは、30 年間、国勢調査をやっておらず、当時の事務総長のところに、国連から専門家を送って手伝ってくれという要請が入りました。そこで、私もその専門家チームの一人として、ミャンマーの国勢調査の計画に加わることとなりました。質問項目の設計から、調査員のトレーニング、データを収集してからは、それをコンピュータでどう処理して報告書にまとめるか、といった一連の仕事に３年ぐらい携わりました。結果、30 年ぶりのミャンマーの国勢調査は大成功。私は、もともと開発途上国の発展のプロセスに強い関心をもっていたので、自分の知識、経験が何らかの役に立ったと実感できた瞬間は、とても嬉しかったです。

＜大久保＞　各国の利益を調整するのが国連という感じですね。

＜富田＞　そうですね。加盟国が 193 か国ありますが、彼らが議論する場を提供するのが国連であって、職員が議論をリードするわけではありません。国連の主役は、各国を代表する外交官です。国連職員は、外交官の協議、交渉を背後でどう支えるか、私たちはあくまでも加盟国にサービスを提供する立ち位置にいます。

＜大久保＞　日本は国連においてはどんなスタンスなのですか。

＜富田＞　あくまで私見ですが、存在感を放っているとは言い難いです。国連は 193 か国ありますので、合議制を取るときにもそれぞれの国に言いたいことを言わせると収拾がつかなくなるので、幾つかのグループで意見をまとめながら議論を進めてゆくことが多いです。例えば EU など、ヨーロッパの国々は文化的にも社会的にも類似性が高いので話がまとまりやすい。また、開発途上国も経済的な利害で共通することが多く、グループとしてまとまりやすい。その他、AUCANZUS（オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、アメリカ）の 4 カ国も、まとまると一大勢力です。日本はどうでしょうか。日本からは近隣の国と結託して、一つの勢力を作って、世界を席捲しようとするような動きは感じられません。一匹狼的な動きが目立つような気がします。

＜大久保＞　日本は何でも目と目で話ができる国で、ほかの国は黙っていたのでは分からないとはっきり言って、嫌なら嫌というコミュニケーションの能力が必要だと思うのです。当校にもアメリカ人の職員が 10 人ぐらいいるのですが、外国人と話す時には、白黒はっきりと、それはだめ、これはいつまでにやってねと言うのですが、日本人でそれをやると、そこまで言っちゃおしまい、そのくらい言われなくたって分かっているみたいなところがあって、コミュニケーションの使い分けが必要と思っているのですが、先生はどうですか。

＜富田＞　私も意識せずに使い分けているみたいです。まず、文法からして、日本語は、動詞が一番最後に来る言語で、「そう」か「そうでない」のか最後まで聞かないと分かりませんが、英語は質問に答える時に、「YES」、「NO」から始まるので、解りやすいですよね。

＜大久保＞　そうですね。だから、日本人だけで使っていると奥ゆかしさはないわけですよ。

＜富田＞　日本は文化的に均質性が高く、長い歴史を持つ国だから「以心伝心」が成り立つわけです。その辺の違いは私もすごく感じまして、国連で働いている時は、どうやって自分の意見をきちんと伝えるかということが大きな課題でした。私はこれでもシャイな部分があるのです（笑）。国連に入職した時、職場でどういうふうに振る舞っていいのかわからず戸惑う一方で、日本の組織のようなやり方ではここでは生きていけないと痛感しました。会議でも、ただ黙っていたら、「こいつは馬鹿で使い物にならない」とレッテルを貼られてしまいます。だから最初の頃は、どんな小さい会議でも、前もってその日の議題を調べておいて、1 回だけは発言しようと自分に宿題を課しました。また、ボスから「KEIKO はいつも自分の話をにこにこ聞いてくれるけれど、それは YES？ NO なの？」と言われたこともありました。かように国際機関では、自分の考え方があり、自分の意見を伝え、人を巻き込んでいくという姿勢がないとやっていけません。

＜大久保＞　だから、日本のように、何千年も同じような民族で、同じような行動様式で暮らしてきた人たちは世界の中では異色なのですね。

＜富田＞　そうですね。昨今のグローバリーゼーションの中で、何がスタンダードかということを見極めるのは難しいのですが、やはり欧米型の、積極的に意見をぶつけるような形のコミュニケーションが今後、主流になってゆくと思います。ですから、日本人が得意とする謙虚さや共感力を大切にしながら、それプラス自分の意見を発信する力を身につけることが大事だと思います。

＜大久保＞　そうですね。特に若い人たちは、以心伝心で伝わらないことが多いので、もっとはっきり言いましょうというのは大事なことかもしれませんね。

＜富田＞　ですから、うちの夫が、私のことを見ていて、あなたは、日本語をしゃべる時と英語をしゃべる時と性格が変わるねと（笑）。

＜大久保＞　自然に切り替えているのでしょうね。私は留学した経験はないのですが、姉妹校がアメリカ、オーストラリア、イギリスにあるので、しょっちゅう行っていたので、最初はニコニコ笑っていただけで、何を考えているか分からないと言われたのですが、今ははっきり言うようにしています。

＜富田＞　教育の影響もあるのかなと思うのです。国連時代に、いろいろな国の学生に向けて

ブリーフィングする機会がありました。日本の学生は、私の話を熱心にメモし、最後に何か質問がありますかと聞くと、シーン。反応がありません。ところが、私が部屋を出ようとすると、後から追いかけてきて、質問攻めに合うわけです。同調圧力の強い日本の教育文化の中では、学生も、たとえ質問があっても、自分だけ手を挙げ、目立つことに逡巡するのだと思うのです。

＜大久保＞　そうだと思います。私も小学校をやっていますが、小学校の頃から、何か疑問に思ったらすぐ質問という習慣を身につけるようにしないといけないと思います。今はリーダーシップの教育は日本にないから、ボスとリーダーを混同していますから、リーダーはやるだけ損、目立ちたくない、足を引っ張られる、受験に不利、こんなことを言う中高校生になってしまうのです。そういうのはだめで、小さいうちから意見を言おうって。

＜富田＞　そういう姿勢は１年、２年では育たないのです。

＜大久保＞　だから、うちの小学校の卒業生は、各中学校の学級委員長になるのです。それは嬉しいなと。だから、小さいうちからやらないとだめだなと。

＜富田＞　うちの大学でも何人かの先生がそういう危惧感をお持ちで、一生懸命学生のお尻を叩いて、積極的な発言を促す、参加型の教育を心がけてくださっています。

＜大久保＞　各国の指導者の中にはとんでもないやつもいるわけでしょう。どんな変な人がいましたか。国益より自分の利益みたいな。

＜富田＞　そういう香りのする指導者はたくさんいますね。高圧的な印象を受ける指導者は少なくありません。特に女性に対して。誤解を招くことを承知で申し上げれば、民主化が浸透していない専制主義的な国のリーダーにはそういうタイプが多いです。その対極として、私が感動したのは、北欧のリーダーたちです。例えば、フィンランドで初の女性大統領となったタルヤ・ハロネンさん。私は、国際会議場の玄関で彼女の到着を待っていたのですが、到着した車から自分でドアを開けて降りてきました。私が、気が利かずに済みませんと謝ると、いいのよ、私は形式主義は嫌いだから一切構わないで、とはっきりおっしゃる。彼女と会議の合間にお茶をご一緒した時には、おずおずと、どういう経緯で大統領になられたのですかと聞いてしまいました。すると、彼女はもともと美術と法学を専攻していたけれど、法律は世の中を変えることができるということに目覚めて、次第に法学に傾倒していったとおっしゃっていました。また、自分の家は富裕でもないし、由緒ある家系でもない。ただ、教育に関しては、たとえ女の子でも、両親がそれを惜しみなくサポートしてくれた。だから、女子の教育の大切さは、私は身をもって知っているとも。ざっくばらんに色々なお話をして下さいまして、私は一目で彼女のファンになってしまいました。

＜大久保＞　日本の男ってどうですか。まだまだだめですか。

＜富田＞　大分変わってきたと思います。それは実感しています。ただ、一定以上の年代の方は、まだ女子の社会進出にどう向き合えばよいのか、ためらう方も多いのかと思います。私はロータリークラブに入会して、茨城でも女性の受け入れ方が随分変わってきたと実感しています。ただ、ジェンダーの話から、それを一つ前進させて、LGBTQ の話になると、まだ理解されるには時間がかかるだろうなという印象を持っています。

＜大久保＞　ダイバーシティについて先生はどのように思いますか。

＜富田＞　私自身は超リベラルで、それは、私が今まで過ごしてきた場所がニューヨークであり、国連も性的ダイバーシティについては先進的な職場であったことが関係していると思います。個人としては偏見がないつもりですが、こういった考え方が大多数の方に受け入れられるにはそれなりの時間がかかると思います。ダイバーシティの議論をするときに、特にアメリカなどでは個々人の価値観の基底に宗教が関係していることもあるので、そういう意味で反発も根深いのだと思います。それに比べて、日本は、八百万の神で、何でもあり的なところがあるので、一度社会的存在が認められると、それほど強い抵抗はなくなるかもしれません。

＜大久保＞　僕もそう思います。ただ、行きすぎではないかと思うことがあるのですが。

＜富田＞　アメリカはそういう社会です。左に

行ったかと思うと、右に振れて、それが共和党と民主党の政権争奪にもよく表れています。アメリカ社会の怖いところは、この振り幅が大きいことだと思います。例えば、最近も、中絶の権利に関する最高裁の判決が半世紀ぶりで覆されています。アメリカではマイノリティーの声が届きやすい反面、その時々の政局によって政策が大きく方向転換されることがあるので、かじ取りが難しい国だと思います。

＜大久保＞　成熟しているイギリスの政治などはどう思いますか。イギリスは国連ではあまりリーダーシップは取っていないのですか。

＜富田＞　国連加盟国には、旧英国植民地も多いので、存在感はそれなりにあります。ただ、イギリスは、今、国連という国際舞台よりも、EU との関係性のほうにかなりエネルギーを割いているような気がします。国連での存在感はもちろんありますが、積極的に国際世論を引っかき回すような動きは少ないですね。

＜髙原幹事＞　ロータリーについてお願いします。

＜富田＞　もちろん以前からロータリーの名前は知っていましたが、入会して、その活動の幅の広さに感心しているところです。国連的な視点から申し上げると、国連はもともと加盟国で構成されている組織ですが、時代とともに、ステークホルダーと言われる関連諸機関、組織との連携を重要視するようになりました。SDGs がいい例だと思いますが、地球規模的課題の解決のためには、国の力では限界がある。だから、一般企業や NGOs など、あらゆる組織、人々に協力を要請して、一緒にやっていきましょうという姿勢を打ち出しています。国際ロータリーは国連が公認する NGOs の一つで、国連はその活動を高く評価しています。むしろ、こういった組織に側面支援していただいて国連の仕事は動いてゆくのだと思います。だから、今、ロータリーでやっていることと国連が主導してやっている事の接点を見極めると、お互いの活動の意義を再評価できるのではないかと思います。例えば、ロータリーではポリオ根絶のための活動を続けていますね。SDGs の３番目のゴールは、「全ての人に健康と福祉」を謳っていて、世界に蔓延している伝染病を撲滅するために力を合わせましょうという具体的なターゲットを掲げています。だから、ロータリーのポリオ撲滅活動と SDGs は同じ方向性を持った活動であるわけです。そのほかにも、異文化の理解とか、国際交流とか、国連のテーマとロータリーの活動は、とても親和性が高いと思います。

＜大久保＞　いろいろ勉強になりました。ありがとうございました。

髙原幹事　　富田学長　　大久保ガバナー

PERSON

富田（大崎）敬子 氏

常磐大学・常磐短期大学学長。東京女子大学文理学部社会学科卒業。米国ジョージタウン大学大学院　人口学修士課程修了。米国フォーダム大学大学院　社会学博士課程修了。社会学博士。1988 年、ニューヨークにある国連本部経済社会分析局入職。バンコクの国連アジア太平洋地域経済社会委員会勤務を経て、2009 年より国連本部経済社会局統計部次長を務めた。その間、人口・社会統計の専門家として SDGs グローバル指標の策定にも携わる。2019 年より現職。併せて、全国大学実務教育協会理事、総務省統計委員会委員、厚生労働省社会保障審議会人口部会委員、国連国際人口移動統計専門家グループのメンバー等も務めている。2002 年、米国社会学学会 Honorable Mention Award 受賞。2019 年度水戸市男女平等参画社会づくり功労賞受賞。水戸市出身。

地域社会と経済発展月間に寄せて

国際ロータリー第2820地区ガバナー
大久保　博　之
（水戸ＲＣ）

まちの活性化はロータリーの重要なテーマです。今月は世界中のロータリークラブで「地域社会と経済発展月間」となっておりこの機会に各々の「まちの課題」について各クラブで考えてみたいものです。

私は一言で言うと「活性化とはまちに人が多く出てくること」だと思います。人が出ればお金も落とす。経済が回ります。しかし今の日本で居住人口の増加は見込めません。ですが、交流人口（観光人口、就労人口、就学人口、買い物人口、娯楽・スポーツ人口、参拝人口？など）はそのまちの努力と創意工夫で増やすことができると思います。

私は水戸ロータリークラブの有志で１年前、水戸駅近くの東照宮宮下銀座に寄席を開きました（定員 50 名の小さな小屋ですが常設です。ただし土日のみ）。なければ魅力的なスポットを創れば良いのです。

ここで大事なことは、まちづくりは都市間競争、地域間競争だと言うことです。すべてのまちや地域を光らせることはできません。努力したところだけ・・・。

茨城の地域のライバルは周りの県だと言っても良いでしょう。茨城の魅力度最下位（今年はブービー）を何とかしたい。茨城の（地元の人が愛する）魅力的なスポットを一人でも多く訪れるように、まずは「見て覧（ミテラン）」ガイドブックの作成にご協力ください。

どんな街でも磨けば光るコンテンツがあります。それを創り出すことはあなたが輝き、世界を彩ることになるのです。

米山月間によせて

米山記念奨学会　評議員
池　田　正　純
（牛久ＲＣ）

毎年 10 月は米山月間です。米山梅吉翁没後 77 年になりますが、その７年後には東京ロータリークラブの古沢丈作会長により、梅吉翁の遺徳を記念する目的で、米山基金が設立されました。募集人数は２名、研究範囲は医学、農学、科学、工学に限定されアジア地域内のロータリークラブに人選を依頼し第１号の米山奨学生はバンコクＲＣ推薦のタイ国籍のソムチャード、ラタナチャットさんが選ばれ東京大学農学部へ入学しました。

東京ロータリークラブの単独事業として実施されていたこの奨学金制度をより素晴らしい事業にする為、ロータリー全国組織に展開され 1958 年にはパキスタン、イラン、ベトナム、フィリピンなどのアジアの異なる国から８名が選抜され、東京大学だけでなく、京都大学、九州大学にまで広がりました。ここからまた輪が広がり 1967 年には、待望の財団化が実現して財団法人ロータリー米山記念奨学会として、文部科学省より認可が下りました。

そして今は米山記念奨学会の総事業費は約 15 億円で特にアジアを中心に 129 か国の地域の方がおり、日本最大の民間奨学事業に成長しました。そして資金はほとんどがロータリアンの寄付によって賄われております。他の奨学会との違いは世話クラブの中から担当カウンセラーを置いて奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーとして心の通った交流をするとともに、奨学生は月に一度以上世話クラブの例会や、奉仕活動に顔を出し、大学では得られない出会いと交流を通じ日本の心を学びながら、ロータリアンとの積極的交流をし、国際理解や相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学んでもらいます。様々な職業や世代で構成されたロータリークラブの会員との交流は日本文化に接し、将来の事や奉仕について考えることになり、奨学生とロータリアンの交流は相互理解のみならず、双方にとって財産となるわけです。その為ロータリアンにとって金銭的支援だけでは得られない感動や米山事業への深い理解が生まれます。

ＲＩ第 2820 地区は個人寄付額では日本 34 地区の内５位に入りますし、奨学生の今年度の地区割り当て人数は最多 51 人、最小９人という中、31 人で８位になりますので当地区は頑張っていると思います。

奨学生そして学友の皆様にはこれからずっと母国と日本の懸け橋となり、平和な世界の実現を目指す活動をすることを望みます。

ガバナー公式訪問報告

幹事　沼　田　　剛
（古河中央ＲＣ）

去る７月 12 日（水）に大久保ガバナーをお迎えし、ガバナー公式訪問を開催させて頂きました。当日は高橋ガバナー補佐をはじめ多くの来賓をお迎えしての開催となりました。

古河市長の都合もあり８時 45 分と早い時間に古河市役所に集合して頂き（ガバナーご一行様には前泊して頂いたようです）市長表敬訪問後「見て覧（ミテラン）」に古河中央ロータリークラブから掲載予定の、ネーブルパーク内ほたるの里を 40℃にもなろうかという猛暑の中、散策して頂き色々な感想やアドバイスを頂きました。その後、いよいよ会場入りです。県内でも２番目という早い開催でしたので、現況報告書も駆け足で作成し、まだまだ理解できてないところやわからないところもあり、悪戦苦闘致しましたが、何とか無事終えることが出来ました。ガバナーのアドバイスを参考に１年間走り続けていきたいと思います。大久保ガバナーはじめ地区の皆様１年間どうぞよろしくお願い致します。

ガバナー公式訪問報告
ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎に於いて

幹事　川　上　　勉
（龍ケ崎中央ＲＣ）

公式訪問当日も梅雨明け前の猛暑にも拘らず第 2820 地区より大久保ガバナー、髙原地区幹事、高尾地区副幹事、第７分区より池田ガバナー補佐、毛利分区副幹事をお迎えしての例会を行いました。予定時刻より早めに到着され、ガバナーとの協議会も当クラブから新会員に同席を頂き有意義なロータリー談義の時間を過ごすことが出来ました。池田ＡＧ、毛利分区副幹事においては、当クラブのスポンサークラブであり日頃よりお世話になっております。集合写真でも分かる通り、今年度９名でのスタートとなり通常例会通り和気あいあいと一日を楽しみました。

昼食終了後には、姉妹クラブグアムサンライズロータリークラブメンバーに ZOOM で近況報告をお願いしました。少人数ながら姉妹・友好クラブとは活発に交流を行っています。

例会プログラムにおいては、ガバナーのロータリーに関する卓話をご自身の職業も交えながらゴードン Ｒ．マッキナリー国際ロータリー会長の方針、第 2820 地区の具体的目標など 30 分間の画像を見ながらのお話を頂きました。今年度第４回のクラブ協議会においては、少人数のため今年度再入会のメンバーもクラブ管理運営委員長を引き受けて頂き、会員増強（親睦）、公共イメージ、財団・米山、奉仕プロジェクトと５つの委員会で組織しているためそれぞれの事業計画に対するご意見を頂きました。増強に関しては純増３名を目標としておりますが、まず 20 名を目指して行けばさらに充実した活動が出来るようになる、親睦第一でありながら、工夫したプログラムにより魅力的なクラブになるなどご意見を頂きました。龍ケ崎中央クラブは例会場にも恵まれておりますので、この記事をご覧頂きましたロータリアンの皆様もぜひ一度メークアップにお越し下さい。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**松　野　雅　章**
（日立ＲＣ）

令和５年７月18日、大久保ガバナー、第１分区鹿志村ガバナー補佐、髙原地区幹事、増山地区会計長、西地区副幹事、小野瀬ガバナー補佐セクレタリー、赤須ガバナー補佐セクレタリーと大勢の皆様にお越しいただき、ガバナー公式訪問が盛大に開催されました。

年度当初にガバナーをお迎えするにあたり、クラブ現況報告書の作成準備を含め通年よりも早いスケジュール進行となりましたが、結果７月１日から事前準備万全でスタートを切る事ができました。

会長、幹事は事前に地区の事業に触れる機会がありますが、メンバーは今回のガバナーからの講話を頂く事で世界や地区の方向性を体感することとなり、クラブ協議会では各委員長の活動方針にご助言いただき、改めてガバナー公式訪問の重要性を認識した一日となりました。

早い時間から日立入りして頂き、例会前に日立市役所にて小川市長表敬訪問、次に茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の候補予定地３カ所の視察と真夏日の非常に暑い中を長時間お時間を割いていただきました。

ガバナーのご厚情に心から感謝すると共に、会員一同一体となって今後の奉仕活動に励んでまいります。貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**櫻　井　幹　也**
（境ＲＣ）

最初の訪問先である境町役場に大久保ガバナー、高橋Ｇ補佐及び随行者の皆様が到着され職員から暖かい歓迎を受けました。町長からは現在の境町の取り組みを紹介頂き、中でも子供たちへの英語教育やスポーツによる街づくり、さらには秋に行われる日本最大級の大利根花火大会などをＰＲして頂きました。その後、ふるさと納税返礼品で人気の「干し芋」カフェで歓談しながら隈研吾氏による建築物群を視察、さらに日本発の自動運転バスに試乗され終点「境道の駅」見学となりました。

短い時間でしたが、境町の未来に向けた取り組みの一部をご紹介でき有意義なひと時となりました。その後、例会会場に移動しガバナー協議会、例会にてガバナー卓話を拝聴、その後のクラブ協議会では活発な意見交換が行われ各委員長が今年の抱負と決意を述べました。今回、ガバナーの「見て覧（ミテラン）」への思いやその目的、またポリオ根絶など世界に向けたロータリーの役割をしっかりと理解することができました。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**佐　藤　広　道**
（東海那珂ＲＣ）

７月26日（水）、大久保博之ガバナー、髙原裕地区幹事、安圭一地区副幹事、磯﨑孝ガバナー補佐、川﨑通夫ガバナー補佐セクレタリーをお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

11時に例会会場であるホテルクリスタルパレスに到着され、ご挨拶をさせて頂いた後、ガバナー、ガバナー補佐をはじめ５名、当クラブから会長を含む９名の14名で定刻より10分程度早く事前協議会を開始いたしました。

初めに田中会長より当クラブの近況や課題などを報告し､また「見て覧（ミテラン）」の候補地について説明しました。その後、大久保ガバナーより自分の所属クラブを例に挙げて会員増強等の課題解決に向けたアドバイスを頂きました。また「見て覧（ミテラン）」についてのガバナーの想いも伺うことができ有意義な会合になりました。12時30分より来賓の方々を迎え盛大に例会を行いました。会長の歓迎の挨拶の後、大久保ガバナーによる卓話を頂きました。自己紹介から始まり、ゴードン Ｒ．マッキナリーＲＩ会長の「世界に希望を生み出そう」の目的や大久保ガバナーのスローガン「まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る」の意味そしてそれに繋がる「見て覧（ミテラン）」作成の想いなどの説明を聞かせて頂きました。その後、クラブ協議会では各委員会の報告に丁寧にアドバイスを頂きとても有意義な一日を終える事が出来ました。

大変お忙しいスケジュールの中、丁寧なご指導を頂きありがとうございました。大久保博之ガバナーの益々のご活躍とご健康をご祈念申し上げ、公式訪問の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**内　桶　克　之**
（友部ＲＣ）

友部ロータリークラブでは８月１日（火）、ガバナー公式訪問がありました。訪問されたのは大久保博之ガバナー、井澤卓司第３分区ガバナー補佐、髙原裕地区幹事、増山英和地区会計長・財務委員長、任田正史地区副幹事、録田幸裕ガバナー補佐セクレタリー、川上英則ガバナー補佐セクレタリーの７人をお迎えしての開催となりました。

10時30分から昨年度笠間市役所に寄贈した電波時計をロビーにて見学。茅根会長と幹事内桶が、経緯と設置までの経過を説明しました。

その後、宍戸ヒルズカントリークラブに移動し、11時から事前協議会、そして12時30分から例会を開催。茅根会長より、大久保ガバナーをはじめとする７名の公式訪問者への歓迎と当クラブの特徴的な活動や課題、来年度40周年に向けてのご挨拶。

大久保ガバナーによる卓話では、私は「学校屋」から始まり、ロータリーの中核的価値、７つの重点事業、国際ロータリー会長テーマ：「世界に希望を生み出そう」の取り組み、私のROTARY観、第2820地区ガバナースローガン：まちを磨けば、あなたが輝き、世界を彩る、茨城ガイドブック「見て覧（ミテラン）」の作成 ① ロータリーの基本は親睦 ②ロータリーは人間動物園 ③ロータリーはジェントルマンシップ ④ ロータリアンである資格の第一は職業人 ⑤ 私の奉仕観：原点は職業奉仕 ⑥ 寛容になりましょう。など今年度活動の方向性を分かりやすく説明いただきました。

14時からのクラブ協議会では、茅根会長が司会進行を行い、各委員会委員長の発表後に、大久保ガバナーから指摘事項や意見をいただき、当クラブが抱える課題や活動についてご指導をいただき、有意義な時間となりました。大久保ガバナー、そして井澤ガバナー補佐、訪問された皆さまに心から感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問報告

幹事　**堀　江　　勤**
（下館ＲＣ）

令和５年８月２日、第2820地区からは大久保博之ガバナー、髙原裕地区幹事、増山英和地区会計長、山口政美地区副幹事、さらに第５分区からは軽部守彦ガバナー補佐、大島浩チーフセクレタリーをお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

まず初めに、当クラブが、地区補助金を頂きながら30年以上にわたり環境保全活動として行ってきた「母子島遊水地」を視察して頂きました。この場所は大久保ガバナー肝いりの事業である「見て覧（ミテラン）」にも掲載する予定となっております。

その後、例会場に場所を移し、多くのメンバーでガバナーをお出迎えして記念撮影を行いました。まず、会長幹事会では、当クラブの歴史や現況など報告し、さらには当クラブが提唱している「下館さくらロータリー衛星クラブ」や「下館ローターアクトクラブ」の活動内容などを説明させていただきました。それに対し、ガバナーより的確なご指導を頂くとともに、当クラブ所属の新井和雄パストガバナーを含めて、下館ＲＣの今後の課題等について意見を交わすことができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

次に、例会では大久保ガバナーより卓話を頂きました。本年度のスローガンや地区目標等を細かくご説明いただき、ガバナーの熱い思いを感じ取ることができました。また、例会の最中に、「希望の風奨学金」に対し、ガバナー自らメンバーひとりひとりに寄付を募られ、メンバー一同、ガバナーに対する親近感をもったことと思います。

そして、その後のクラブ協議会では、各委員会より活動方針や事業計画について説明させて頂きました。それに対し、ガバナーより的確で懇切丁寧な講評とアドバイスを頂戴することができ、各委員長の励みになったことと思います。

最後に、コロナ禍で停滞していたクラブ活動も本格的に再開している中で、当クラブも長年支援を続けているネパールへの国際奉仕活動や、環境保全活動の一環でもある母子島遊水地の整備活動などを中心に、１年間活動してまいりたいと考えております。大久保ガバナーにおかれましても、今回の公式訪問に対し、深い感謝を申し上げるとともに、当クラブへの絶大なご支援・ご指導を賜りますことを、会員一同心よりお願い申し上げ、下館ロータリークラブガバナー公式訪問に対する報告とさせて頂きます。

ガバナー公式訪問報告

会長　**鈴　木　崇　久**
（日立港ＲＣ）

８月３日（木）、大久保博之ガバナー、髙原裕地区幹事、宮﨑雅彦地区副幹事、鹿志村高道第１分区ガバナー補佐、小野瀬裕ガバナー補佐セレクタリーをお迎えし、ガバナー公式訪問を開催しました。

当日は、御一行到着後、「見て覧（ミテラン）」ガイド候補地である㈱日立製作所　日立オリジンパーク小平記念館と大甕神社を見学していただきました。

その後、当クラブ例会場である「美かの」に移動し、会長・会長エレクト・幹事との事前協議会を行いました。鈴木会長より当クラブの活動内容が報告された後、大久保ガバナーより今後の活動・運営等についての貴重なアドバイスを頂きました。

協議会後、大久保博之ガバナー歓迎例会を開催しました。ガバナーによるパワーポイントを活用し、沢山の写真やビデオを交えた興味深い内容のお話を伺いました。例会終了後、会場前で記念撮影を行いました。

記念撮影後、クラブ協議会を行いました。各委員長より本年度の活動方針、事業計画の発表が行われ、ガバナーより委員会毎に丁寧なアドバイスやご指導を頂けたことで今後の活動の参考になりました。

コロナ規制解除後、初のガバナー公式訪問でしたが懇親会は行われず、公式訪問の全日程を終了しました。最後になりますが、大久保ガバナーはじめ役員の皆様におかれましては、健康に十分留意され、益々のご活躍を祈念してガバナー公式訪問の報告とさせて頂きます。有難うございました。

ＲＬＩ研修会報告

ＲＩ第2820地区　ＲＬＩ委員長
高　貫　　修
（水戸ＲＣ）

６月４日、次年度会長と地区幹事向けのRLI＝ロータリー・リーダーシップ研修会を開催しました。RLI(Rotary Leadership Institute)は、ロータリーにおけるリーダーシップスキルの向上を目的とした研修会です。クラブのリーダーシップを進める立場にある役職者や、これからのクラブを背負っていくロータリアンに、組織に重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的です。また、ロータリアンとして成長し、充実した活動するために、一人一人がロータリーを深く理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行くヒントを見つけるためのプログラムでもあります。

今回はRLIテキストpart 2を使用しました。いわば中級者向けの内容での研修です。内容は以下の通りです。

１，戦略計画とクラブ分析
２，会員を勧誘する
３，チーム作りとコミュニケーション
４，ロータリー米山奨学記念奨学事業
５，ロータリー財団Ⅱ　目標とする奉仕
６，強いクラブを創る

ＲＬＩは講義ではありません。すべてのセッションはテキストをもとに、全員がディスカッションするという形を取ります。テキストに従って、ご自身のクラブで実施している奉仕活動の意味や事業展開を再確認し、それぞれ発表していきます。そして、クラブの活動がロータリーの目的の中で、どのような意義を持つのかを改めて気づきます。また、ディスカッションを通して、同じ奉仕活動でありながら、クラブによって違う角度からのアプローチや組織作りがある事を具体的に体感していきます。それらの気づきの中から、具体的に自分のクラブにも取り入れてみよう、自分もリーダーとして同じようにクラブを活性化させよう、といったモチベーションにつながっていきます。

今回対象者である、次年度会長と地区幹事は大久保ガバナー年度を牽引する中核の方々です。年度開始前のこの時期にRLIを開催するのは新年度に向けて大変意義があることだと思います。ぜひ皆さんのクラブが活性化されますようご祈念申し上げます。

７月会員増強報告

分区	クラブ名	会員増強報告（単位／人）								
		本年末会員目標	期首会員数	７月実績		本年度累計			2023年７月末日	うち女性
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1分区	日立	74	72	3	0	3	0	3	72	3
	日立南	34	32	0	0	0	0	0	32	2
	高萩	30	26	0	0	0	0	0	26	0
	北茨城	28	25	1	0	1	0	1	26	3
	日立港	35	33	1	0	1	0	1	34	3
	日立北	30	28	0	0	0	0	0	28	0
	日立中央	20	18	0	0	0	0	0	18	2
	合　計	251	234	5	0	5	0	5	236	13
第2分区	那珂湊	25	23	0	0	0	0	0	23	1
	常陸太田	31	29	0	0	0	0	0	29	6
	大子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	18	15	0	0	0	0	0	15	0
	勝田	27	25	1	0	1	0	1	26	4
	東海那珂	34	32	2	0	2	0	2	32	0
	ひたちなか	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	合　計	181	166	3	0	3	0	3	167	15
第3分区	水戸	125	124	3	0	3	0	3	127	5
	笠間	17	15	0	0	0	0	0	15	0
	水戸西	73	71	0	0	0	0	0	71	12
	水戸南	80	77	0	0	0	0	0	77	12
	友部	21	17	1	0	1	0	1	18	0
	水戸東	67	62	0	0	0	0	0	62	3
	水戸さくら	49	36	7	0	7	0	7	43	6
	水戸好文	18	16	1	0	1	0	1	17	16
	合　計	450	418	12	0	12	0	12	430	54
第4分区	古河	54	51	0	0	0	0	0	51	3
	境	32	29	0	0	0	0	0	29	0
	岩井	3	6	2	0	2	0	2	8	1
	古河東	53	51	0	0	0	0	0	51	16
	古河中央	50	46	1	0	1	0	1	47	5
	合　計	192	183	3	0	3	0	3	186	25
第5分区	下館	35	29	1	0	1	0	1	30	3
	結城	26	24	0	0	0	0	0	24	0
	真壁	16	15	0	0	0	0	0	15	0
	下妻	64	61	1	0	1	0	1	62	6
	しもだて紫水	53	51	0	0	0	0	0	51	4
	筑西きぬ	16	11	0	0	0	0	0	11	1
	岩瀬	22	20	0	0	0	0	0	20	0
	合　計	232	211	2	0	2	0	2	213	14
第6分区	石岡	22	17	0	0	0	0	0	17	0
	土浦	51	48	0	0	0	0	0	48	6
	土浦南	89	87	1	0	1	0	1	88	7
	つくば学園	103	101	1	1	1	1	0	101	0
	石岡87	26	24	0	0	0	0	0	24	0
	土浦中央	13	11	0	0	0	0	0	11	0
	つくばシティ	58	53	1	1	1	1	0	53	8
	阿見	16	13	2	0	2	0	2	15	1
	つくばサンライズ	14	13	0	0	0	0	0	13	6
	合　計	392	367	5	2	5	2	3	370	28
第7分区	竜ヶ崎	35	34	0	0	0	0	0	34	5
	水海道	55	53	0	0	0	0	0	53	2
	取手	18	16	0	0	0	0	0	16	0
	牛久	39	38	0	0	0	0	0	38	3
	守谷	5	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ケ崎中央	10	7	2	0	2	0	2	9	2
	合　計	162	151	2	0	2	0	2	153	12
第8分区	鉾田	30	29	0	0	0	0	0	29	0
	鹿島臨海	45	44	0	1	0	1	−1	43	5
	玉造	10	8	0	0	0	0	0	8	1
	波崎	15	13	0	0	0	0	0	13	1
	鹿島中央	22	20	1	0	1	0	1	21	2
	合　計	122	114	1	1	1	1	0	114	9
茨城Ｅクラブ		13	11	0	0	0	0	0	11	4
地区合計		1995	1855	33	3	33	3	30	1880	174

※期首とは７月１日の午前０時時点、末日とは当日末日午後 12 時時点とする。

新会員紹介

下妻ＲＣ
鈴木　康弘
■入会日
2023年6月9日
■職業分類
飲食業

下妻ＲＣ
稲吉　英人
■入会日
2023年6月30日
■職業分類
飲食業

下妻ＲＣ
端　　茂樹
■入会日
2023年6月30日
■職業分類
建設業

日立ＲＣ
中言　裕之
■入会日
2023年7月1日
■職業分類
情報サービス

日立ＲＣ
村山　貢一
■入会日
2023年7月1日
■職業分類
工業用ガス販売

日立ＲＣ
皆川　雅彦
■入会日
2023年7月1日
■職業分類
経営及び人事労務コンサルティング

東海那珂ＲＣ
木戸　俊哉
■入会日
2023年7月1日
■職業分類
原子燃料材料等研究開発

東海那珂ＲＣ
瀬谷　雄一
■入会日
2023年7月1日
■職業分類
綜合防災サービス

水戸好文ＲＣ
藤田　晶子
■入会日
2023年7月2日
■職業分類
衣料品販売

龍ケ崎中央ＲＣ
大原　浩行
■入会日
2023年7月2日
■職業分類
不動産業

龍ケ崎中央ＲＣ
鈴木　夕里子
■入会日
2023年7月2日
■職業分類
保育園

水戸さくらＲＣ
石井　希代子
■入会日
2023年7月3日
■職業分類
動画制作

水戸さくらＲＣ
城戸　孝之
■入会日
2023年7月3日
■職業分類
広告代理業

水戸さくらＲＣ
松野　祐介
■入会日
2023年7月3日
■職業分類
映像制作

水戸さくらＲＣ
矢吹　由香里
■入会日
2023年7月3日
■職業分類
デザイナー

水戸ＲＣ
大月　章子
■入会日
2023年7月4日
■職業分類
専門工事

水戸ＲＣ
伊藤　友之
■入会日
2023年7月4日
■職業分類
専門工事

水戸ＲＣ
岩間　智也
■入会日
2023年7月4日
■職業分類
接骨

土浦南ＲＣ
野﨑　昭彦
■入会日
2023 年 7 月 4 日
■職業分類
機械小売

友部ＲＣ
村上　直之
■入会日
2023 年 7 月 4 日
■職業分類
不動産管理

日立港ＲＣ
白戸　孝典
■入会日
2023 年 7 月 6 日
■職業分類
システムエンジニアリング

水戸さくらＲＣ
尾崎　精彦
■入会日
2023 年 7 月 10 日
■職業分類
旅行業

水戸さくらＲＣ
小田倉　大志
■入会日
2023 年 7 月 10 日
■職業分類
コンサルタント業

下妻ＲＣ
鶴見　　寧
■入会日
2023 年 7 月 13 日
■職業分類
電気工事請負

古河中央ＲＣ
中村　　潤
■入会日
2023 年 7 月 26 日
■職業分類
不動産業

水戸さくらＲＣ
坂　亜紀子
■入会日
2023 年 7 月 31 日
■職業分類
デザイナー

2026－2027 年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い

（ガバナーノミニー・デジグネート）

このことにつきましては、2012 年 5 月 26 日の指名委員会・ガバナー補佐合同会議及び 2012 年 8 月 18 日の諮問委員会において、今後の第 2820 地区ガバナーノミニーの選出が、ガバナー及び輩出クラブの負担軽減を含め、スムーズに行われるよう、現行制度を以下のように改革する案が協議され採択されております。

協議事項１．第 2820 地区の８つの分区を以下の５つのブロックにする。

第１ブロック　　第１分区、第２分区
第２ブロック　　第３分区
第３ブロック　　第４分区、第５分区
第４ブロック　　第６分区
第５ブロック　　第７分区、第８分区

協議事項３．ガバナーノミニーの選出ブロック順は以下となる。

2026―2027　第３ブロック
2027―2028　第４ブロック
2028―2029　第２ブロック
2029―2030　第１ブロック
2030―2031　第５ブロック

2026―2027 年度ガバナー（ガバナーノミニー・デジグネート）については、協議事項３により、第３ブロックより選出されることとなりますので、第３ブロック内クラブより推薦いただき、ガバナー事務所にご連絡ください。

ガバナー指名委員長　**髙 橋　賢 吾**

大高ガバナーエレクト事務所開設

例年にないきびしい残暑の９月１日正式に事務所を開設いたしました。

日立駅改札口を出ると中央通路から右手に三角屋根の「小野ビル」が見えます。徒歩２分、２階の壁にロータリーの看板プレートがひかえめですが、新鮮です。

出身クラブの高萩ＲＣと協議を重ね、地区大会等活動拠点となる日立に、第１分区７クラブの協力の結節点として、ご高配を賜り、事務所は開設されました。

１日午前 10 時、開所の御祝に届けられたお花を飾って大河原地区幹事、石資金委員、千葉事務局員、長瀬事務局員は早速業務を開始しました。大高ガバナーエレクトも仕事始め、月信スタッフと編集方針の協議を行いました。

事務所は、国際デザインコンペ「ブルネル賞」受賞の日立駅を間近に、海風を受けて太平洋を見渡す眺めの良い所です。

駐車場は駅周辺駐車場をご利用いただくこととなりますが、どうぞ、気軽にお立ち寄りくださいますよう、所員一同お待ち申し上げます。

メンタルヘルス

復職を許可するのは誰か？

高尾　哲也

皆様は「産業医」と「主治医」の違いについてご存知でしょうか？あまり知られていない点かと思うので、今回ほんの少しですがご紹介させて下さい。

「休職中の患者さんの復職を許可するのは誰なのか？」。この問いを考えることで主治医と産業医との違いがはっきりしてきます。さて、一連の流れを追ってみましょう。まず、従業員である患者さんは診察室でこんな会話をします。「先生、だいぶ良くなってきたんで復職したいんです」。主治医はこう答えます。「確かに症状は緩和して日常生活もしっかりきましたね、復職 OK の診断書をお書きしましょう」。主治医は、患者さんの求めに応じて、医学的な所見をもとに「復職可能」という診断書を発行しました。次に、この従業員は職場にその診断書を持ってこう言います。「主治医の先生から復職 OK もらいました、復職お願いします」。ここで齟齬が生じることがあります。復職させてみるとまだ不調そうで勤怠が乱れている、病前の就業能力まで全然戻っていないという事態が往々にして起きるのです。これはなぜか？主治医はあくまで「日常生活に支障がないか」という視点で復帰できるかどうかを判断します。かくして、ここで登場するのが産業医です。産業医は職務能力・安定就労が可能か否かに注目しています。ですので、主治医がいかに復職可能と主張しても、産業医的には復帰を許可できないという状況が生まれるのです。まとめると、主治医は日常生活能力と病状回復性を、産業医は就業能力と安定就労性をみているが故に、復帰判定するために両者で齟齬が生まれているということです。

両者の違いがお分かりいただけたでしょうか？そして冒頭の質問、「復職を許可するのは誰か？」ですが、それは、事業者、つまり皆様方経営者自身です。経営者は産業医の意見を参考に最終的に復職させるか否かを判定するのです。

産業医の選任は従業員数が 50 名を超えた事業所で必須と法的に定められています。

高尾　哲也　略歴

医療法人イプシロン理事長
精神科医　医学博士　認定産業医

筑波大学医学専門学群卒
同大学院人間総合科学研究科卒

水戸メンタルクリニックやつくば心療内科クリニックなど県内外で 5 つの診療所、就労支援事業所等を運営。茨城県内を中心に約 100 ヶ所の企業・団体の産業医メンタル支援事業も実施している。

■訃　報　謹んでお悔やみ申し上げます。

つくばシティＲＣ
中田　誠一
（享年　78才）
昭和20年1月12日生
令和5年7月30日ご逝去
平成7年12月20日入会
宅地建物取引業

■ロータリー歴
会長・幹事・副会長
職業奉仕委員長・ロータリー情報委員長
社会奉仕委員長・親睦活動委員長
米山記念奨学会委員長・SAA・ロータリー財団 他

■寄 付 歴
ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（4）
米山功労者マルチプル（4）

10月・11月のガバナー公式訪問・スケジュール

１０月　４日（水）土浦中央ＲＣ
１０月　５日（木）土浦ＲＣ
１０月１１日（水）石岡ＲＣ
１０月１２日（木）石岡87ＲＣ
１０月１６日（月）牛久ＲＣ
１０月１７日（火）土浦南RC
１０月１８日（水）つくばシティＲＣ
１０月１９日（木）水戸好文ＲＣ
１０月２０日（金）水戸南ＲＣ
１０月２１日（土）茨城ＥＣ
１０月２４日（火）古河東ＲＣ
１０月２５日（水）水海道ＲＣ
１０月２６日（木）阿見ＲＣ
１０月３１日（火）水戸ＲＣ
１１月　４日（土）第一回会長幹事会
（水戸市民会館）
１１月　５日（日）地区大会
（水戸市民会館）
１１月１２日（日）地区親善野球大会
（水戸市総合運動公園軟式野球場・
四面球場）

2024年シンガポール国際大会 早期登録のご案内

国際大会 開催期間（2024年5月25日～29日）
マリーナ ベイ サンズ エキスポ＆
コンベンション センター

MyRotaryにてオンライン登録が可能です。登録料が＄500（９月１日現在）です。どうぞお早めにご登録下さい。

LINE 公式アカウント
友だち募集中
@103mbrqx
第2820地区公式ＬＩＮＥを開設いたしました。
ＬＩＮＥアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。
LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

コラム 私の思い

（私論） 働く意味について

ガバナー　大久保　博之

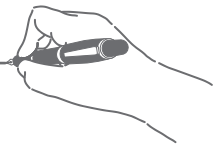
■「人は何で働くか？」と言う問いに多くの人が、様々な答えを持っていることと思います。簡単に言うと、金をもらって働く人を「プロフェッショナル」と言い、報酬をもらわないで働くことを「ボランティア」と言います。これはどちらも尊い・・・。

■職業つまり、プロフェッショナルの第一の目的は「報酬」です。人は食わなければ生きていけない。生存は第一。お金は少々でも多いに越したことは無い。だからといって人は何でも報酬のためだけに働くか・・・？下記は百年前の英国ロンドンでの南極探検隊員募集の広告。

南極探検隊員募集
求む隊員。
至難の旅。
わずかな報酬。
極寒。
暗黒の日々。
絶えざる危険。
生還の保証はない。
成功の暁には名誉と賞賛を得る。

■アーネスト・シャクルトン卿によるこの広告で5,000人の若者が応募し、優秀な隊員をリクルートでき、探検隊は一人の犠牲もなく越冬を終了したと言います。働く意味には「社会への貢献」や「自己の成長」も大きいらしい。むしろその「意味」が強ければ強いほど、人は生きがいを感じ、幸福感を得るらしい。

■一万円札のモデルになられる（商工会議所を創った）かの渋沢栄一翁は「論語と算盤」の中で「企業の利益と公共の利益は一致しうる。」と説かれました。できれば企業自身の経済活動が社会の利益に繋がることが大事。またはその企業活動で得た利益を、福祉や社会事業に役立てること（フィランソロフィ）も大事。
ロータリーの活動はそれに気付かせてくれるチャンスであります。



編集後記

月信も早いもので Vol. 4 になりました。お忙しい中、これまで寄稿など様々な面でご協力頂きました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。編集委員としてこの月信の編集に携わっておりますと、今まで知らなかったロータリーの地区の動静などにも少しずつ理解が深まり、多少なりとも視野が広がった気もします。ただ、最近老眼のために文字が見えにくいことに苦慮しております。歳はとりたくないですね。これからも大久保ガバナー年度のタイムリーな情報と会員の皆様にとって興味深い情報提供を目指してまいります。お気付きの点がございましたら是非、編集委員迄ご連絡下さい。今後とも引き続き宜しくお願い申し上げます。
（藤田）

Rotary 第2820地区

国際ロータリー第 2820 地区　ガバナー事務所
〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1 − 7 −20　ホテルテラス ザ ガーデン水戸 1 階
TEL：029-246-5766　FAX：029-246-6533
E-mail : 23-24@rid2820.jp　ホームページ：http://www.rid2820.jp

Rotary
District 2820

世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第2820地区

2023-2024年度地区大会

MITO

まちを磨けば、
あなたが輝き、世界を彩る

WE CREATE HOPE in the COMMUNITY

2023年

11月4日(土) ▶ 5日(日)